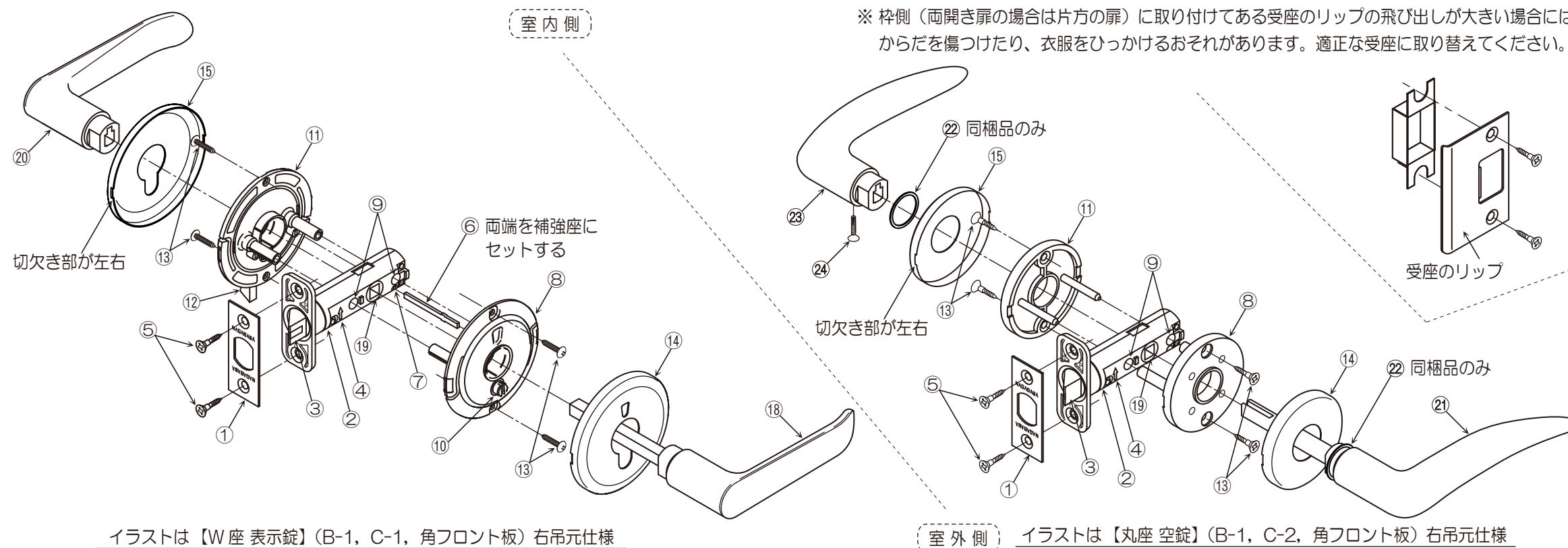


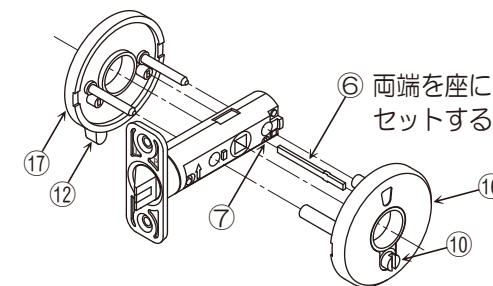
丸座・W座【TXS 錠対応】レバー set 取付説明書

取付上の注意

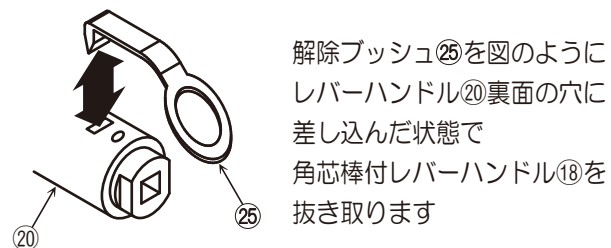
- ※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。
※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



B-2：かんごう式【丸座】の取り付け



C-1：ワンタッチレバーの取りはずし方



解除ブッシュ⑫を図のようにレバーハンドル⑫裏面の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバーハンドル⑫を抜き取ります

イラストは【W座 表示錠】(B-1, C-1, 角フロント板) 右吊元仕様

イラストは【丸座 空錠】(B-1, C-2, 角フロント板) 右吊元仕様

- A：吊元の確認と錠の取り付け
1. 「左吊元」の場合は、フロント板①をはずし、錠②のラッチボルト③を廻してあわせてください。
 2. 錠②を矢印④を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
 3. 錠②とフロント板①をあわせて、固定ねじ⑤2本で取り付けます。

B-1：ねじ止め式【丸座】【W座】の取り付け

1. 表示錠・間仕切錠の時は、ロックバー⑥を錠のカム穴⑦に差し込みます。
2. 補強座室外側⑧の脚部を錠ガイド穴⑨に差し込みます。(表示錠・間仕切錠の時は、キープラグ溝⑩は縦向き)
3. 補強座室内側⑪の脚部を補強座室外側⑧の脚穴へ差し込みセットします。(表示錠・間仕切錠の時は、サムターンツマミ⑫は縦向き)

⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。
補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

4. 補強座を固定ねじ⑬4本で取り付けます。
5. 仮固定のレバーをはずし、座力バー⑭⑮を嵌め込みます。座力バーの『切り欠き部が左右』に注意してください。

B-2：かんごう式【丸座】の取り付け

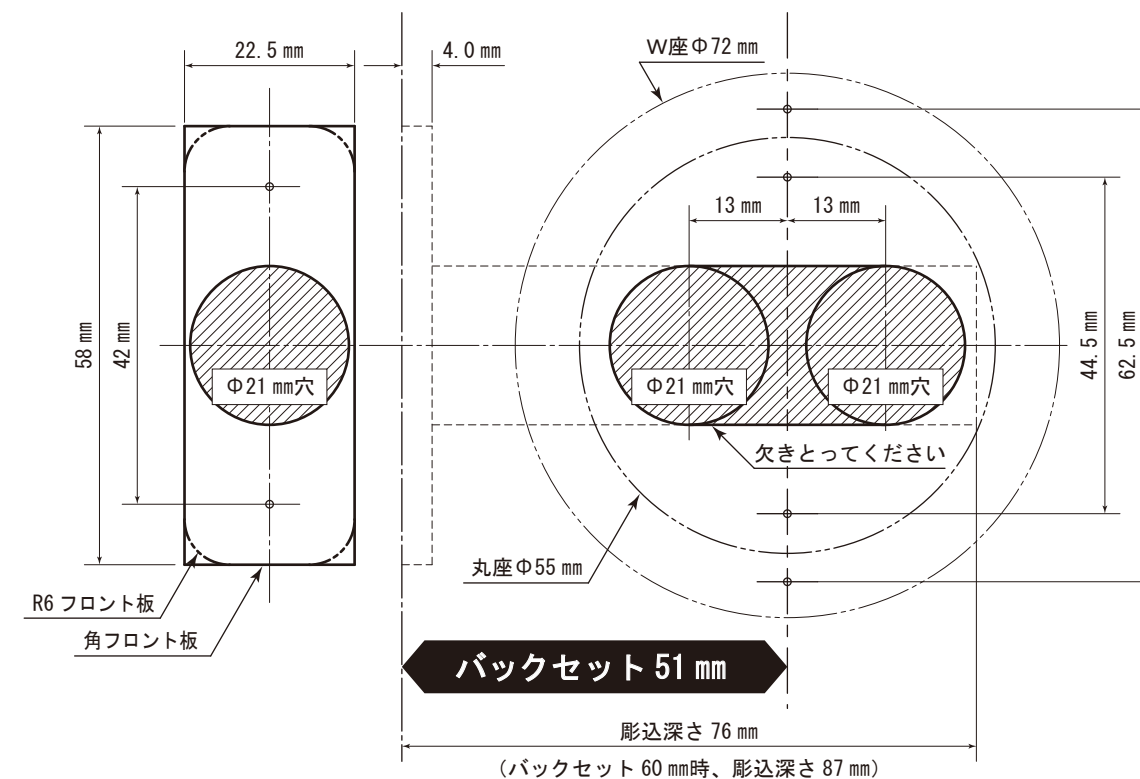
1. 表示錠・間仕切錠の時は、ロックバー⑥を錠のカム穴⑦に差し込みます。
2. 室外座⑯の脚部を錠ガイド穴⑨に差し込みます。(表示錠・間仕切錠の時は、キープラグ溝⑩は縦向き)
3. 室内座⑰の脚部を室外座⑯の脚穴へ、しっかり差し込みセットします。(表示錠・間仕切錠の時は、サムターンツマミ⑫は縦向き)

C-1：ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑮を錠角穴部⑱に差し込みます。反対側レバーハンドル⑲をセットしてください。
- ※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。
その時は上記『ワンタッチレバーの取りはずし方』を参考にゆめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

C-2：ねじ止めレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑲にスペーサー⑳(同梱品のみ)を入れて、錠角穴部⑱に差し込みます。
反対側レバーハンドル㉑にスペーサー⑳(同梱品のみ)を入れてセットし、TP ねじ㉒で固定してください。
※ レバーハンドルのガタツキがないよう、しっかりと取り付けてください。



株式会社 長沢製作所



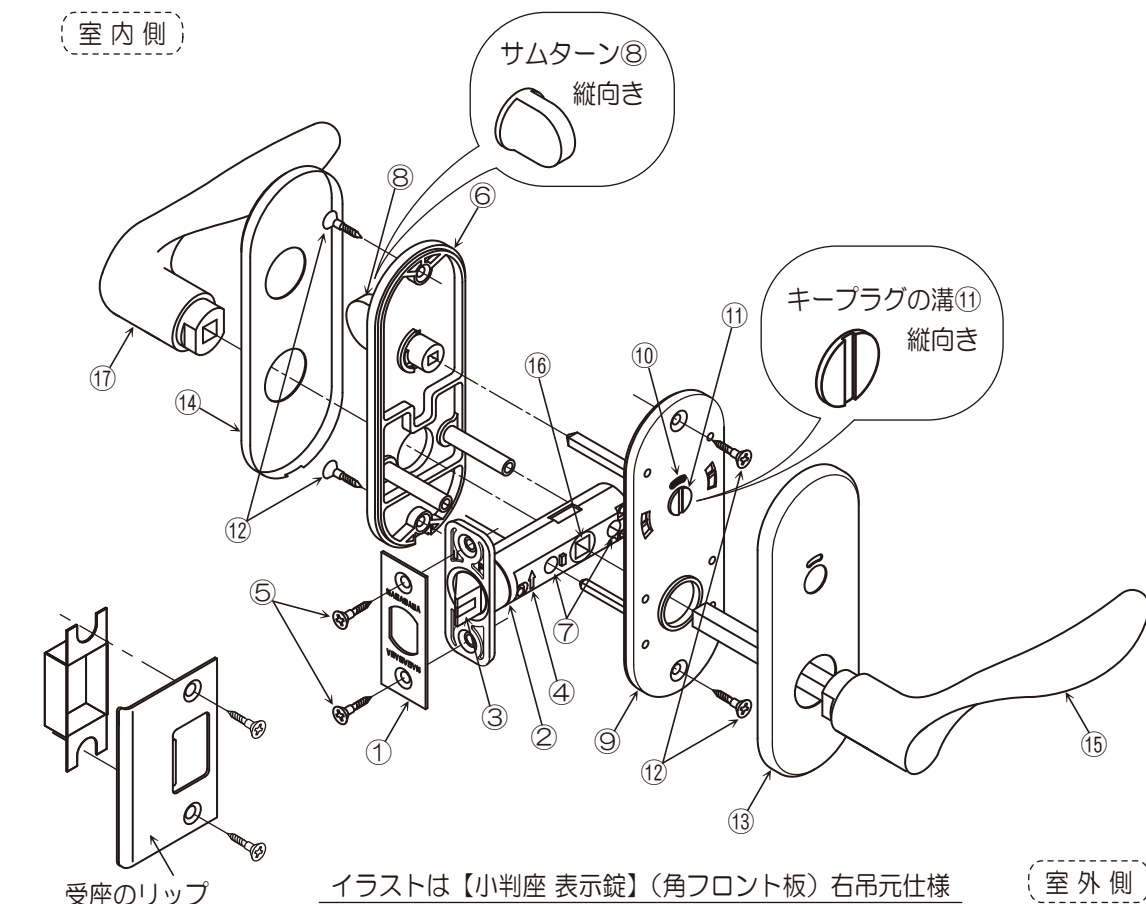
- | | | | |
|------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 東京支店 | TEL. 03-5383-1811 (代) | 福岡出張所 | TEL. 092-524-7031 (代) |
| | FAX. 03-5967-3103 | | FAX. 092-524-7032 |
| 大阪支店 | TEL. 06-6783-5091 (代) | | |
| | FAX. 06-6783-5092 | | |

小判座・F座・長座【TXS 錠対応】レバー set 取付説明書

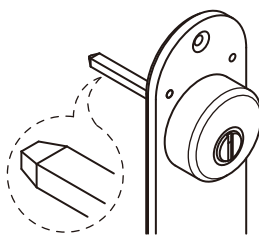
取付上の注意

- ※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。
※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。

※ 枠側（両開き扉の場合は片方の扉）に取り付けてある受座のリップの飛び出しが大きい場合には、からだを傷つけたり、衣服をひっかけるおそれがあります。適正な受座に取り替えてください。

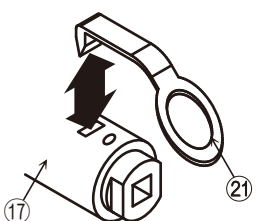


B：シリンダー付間仕切錠の取り付け時



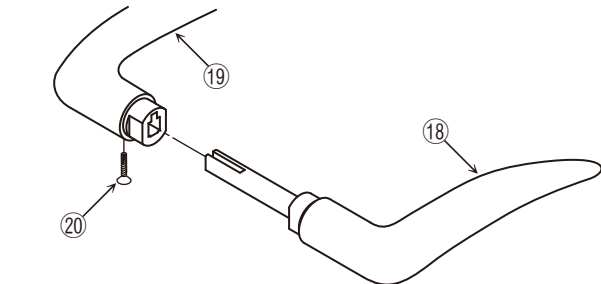
鍵を抜き取り
キーブラグの向きが
横長になっているのを
確認し室内側補強座⑥
のサムターン⑧角穴に
セットします

C-1：ワンタッチレバーの取りはずし方



解除ブッシュ②④を図のように
レバーハンドル①⑦裏面の穴に
差し込んだ状態で
角芯棒付レバーハンドル①⑤を
抜き取ります

C-2：ねじ止めレバーハンドルの取り付け



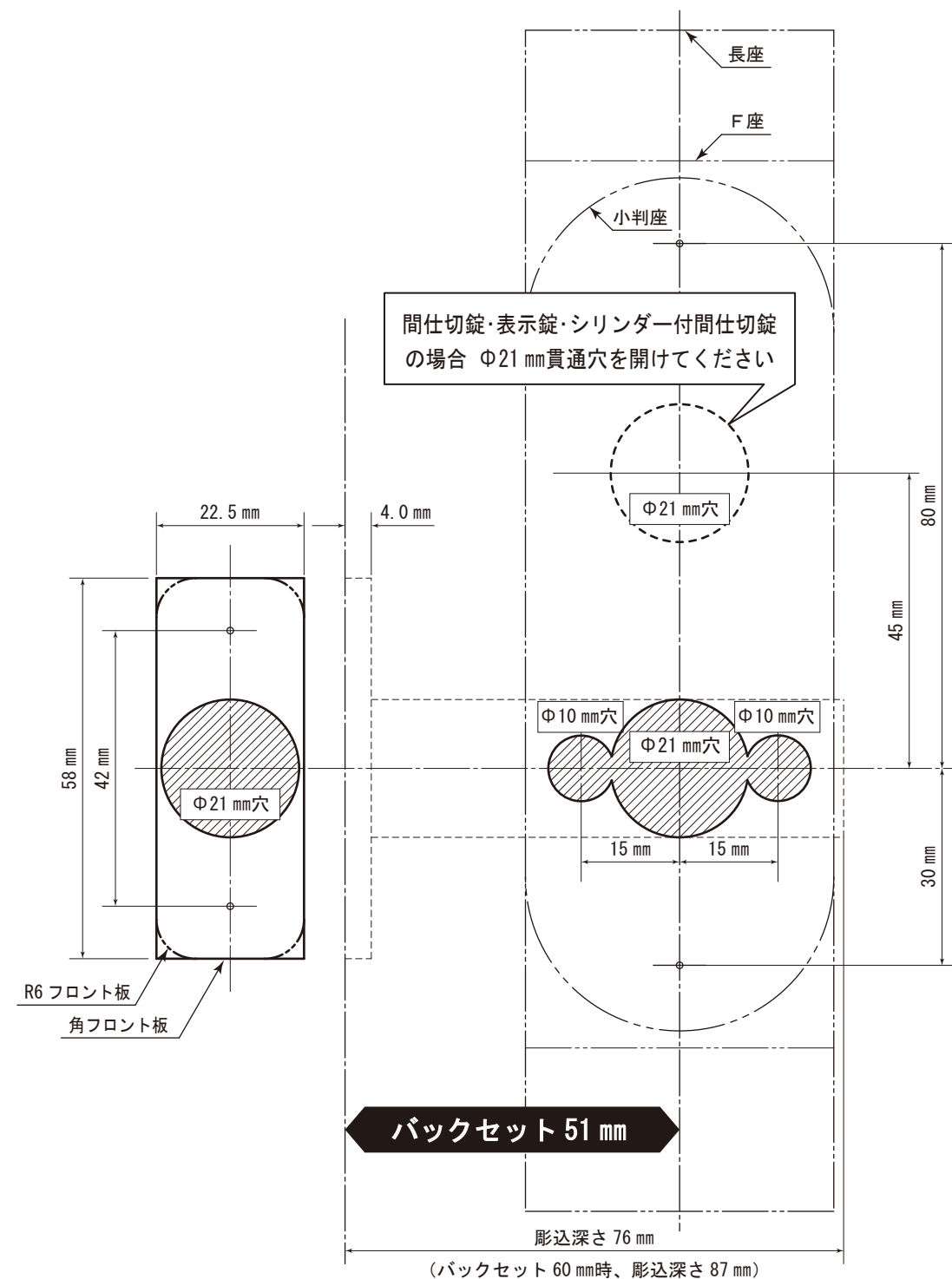
- A：吊元の確認と錠の取り付け
1. 「左吊元」の場合は、フロント板①をはずし、錠②のラッチボルト③を廻してあわせてください。
 2. 錠②を矢印④を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
 3. 錠②とフロント板①をあわせて、固定ねじ⑤2本で取り付けます。
- B：座の取り付け
1. 室内側補強座⑥の脚部を錠ガイド穴⑦に差し込みます（セット時、サムターンツマミ⑧は縦向き）。
 2. 室外側補強座⑨の脚部を室内側補強座⑥の脚穴へ差し込みセットします。
(表示錠の時、表示⑩は緑、キーブラグ溝⑪は縦向き。シリンダー付間仕切錠の時は上記イラストのようにセットしてください)
- ⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。
補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。
3. 補強座を固定ねじ⑫4本で取り付けます。
 4. 仮固定のレバーをはずし、【小判座】(【F座】【長座】) カバー⑬⑭を嵌め込みます。上下『切り欠き部が下』に注意してください。

C-1：ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル①⑤を錠角穴部①⑥に差し込みます。反対側レバーハンドル①⑦をセットしてください。
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。
その時は上記『ワンタッチレバーの取りはずし方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

C-2：ねじ止めレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル①⑤を錠角穴部①⑥に差し込みます。反対側レバーハンドル①⑦をセットし、TP ねじ②④で固定してください。
※ レバーハンドルのガタツキがないよう、しっかりと取り付けてください。



NAGA
SAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092